

令和6年11月定例会会議録

(令和6年11月22日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 11月定例会会議録

- 【開催日】 令和6年11月22日（金）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
早 田 蛍 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
下 津 恵 美 教育部次長
松 本 康 祐 教育部次長
松 本 豊 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宣 孝 生涯学習課長
高 嶋 宏 幸 教育サポートセンター所長
上 角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
- 【事務局】 萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事
- (審議事項) <議案案件>
① 八市教委議第25号 令和6年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書(案)について
- <協議案件>
① 協議第7号 「学力向上やつしるプラン」の改訂について
② 協議第8号 「不登校対策やつしるプラン」の改訂について
- <報告案件>
① 報告第19号 令和5年度八代市学校・子ども教育応援基金事業の取組状況について
② 報告第20号 令和5年度決算審査における質疑・要望等の概要について
1. 開会 (午後3時32分 開会)
2. 会議録の承認 令和6年8月定例会

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

＜八市教委議第25号＞ 令和6年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書（案）について

松本教育政策課長 8月定例会において教育委員の方々からいただいた意見及び、その後9月及び10月に開催した外部評価委員会において外部評価委員の方々からいただいた意見を取りまとめ、令和6年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書を作成した。
資料により説明

丸山教育委員 内容は8月定例会にて詳しく説明をいただいたので承知している。この報告書が承認された後、公表となると思うが、表紙に「外部評価委員用」という文字がある。このまま公表となるのだろうか。

萩本教育政策課教育政策係長 不要な文字であるため、削除して公表する。

中教育長 外部評価委員の方々の意見で、改善を要するような厳しい評価はなかったか。

松本教育政策課長 説明は各課で行ったが、外部評価委員の方々から評価をいただいたときは、事務局のみ出席しており、担当課は不在だった。他課の評価について説明するのは難しい。

中教育長 外部評価委員の方々の意見は、各課へフィードバックされているだろうか。

松本教育政策課長 この報告書を以って行うことになる。

萩本教育政策課教育政策係長 各課へはこの点検・評価報告書（案）として事前に配付しているので、確認いただいていると思う。本日の委員会で承認していただいた後、次年度に向けての対応について通知を出す予定としている。

中教育長 各担当課においては、外部評価委員の方々の意見を踏まえて、来年度もしっかり対応できるという認識でよいか。

萩本教育政策課教 外部評価委員の方々の意見については、支援するような温

育政策係長 かい意見が多かった。移動図書館のわくわく号について、到着したときに音楽を流したりしてはどうかという意見があった。資料には載せていないが、印象的だったのでお伝えしたい。

丸山教育委員 外部評価委員会の進め方については意外だった。私たちが8月定例会で説明を聞いたときのように、担当課の説明を聞いた後、その場で質疑応答できるような形が望ましいのではないかと思う。来年度以降、そのような方法を検討されてもよいのではないかと思う。

中教育長 外部評価委員に評価していただくのは、毎年度6項目であるが、この報告の趣旨を踏まえ、改善すべき点は改善し、しっかり説明ができるような体制を作ってもらいたい。

松本教育政策課長 先ほど丸山教育委員からご意見のあった、外部評価委員会の進め方について、説明が不足していたので補足したい。

外部評価委員3名の方には、定例会と同じような形で説明をする。そこで質疑等をいただいたものには回答する。それを持ち帰っていただき、郵送で意見書を提出していただく。それを事務局でまとめ、第2回の外部評価委員会で委員と事務局で内容の確認を行う流れとなる。意見書については、各課が説明のときに聞いていない内容もある。

丸山教育委員 所管課とのやり取りがリアルタイムでできたほうがよいと思ったが、後からペーパーでのほうが書きやすいということがあるのかもしれない。あまりタイムラグが起きないようにしてほしい。

中教育長 意見書について、所管課の目が全く入らない状態で進むと、勘違いで書かれた内容がそのまま流れてしまうと良くないこともある。その点については、所管課の目を通してもらったほうが良いかと思う。最終的には公表し、議会に提出するものであるので、慎重に確認しながら、事務作業を進めていただきたい。

【八市教委議第25号 承認】

<協議第7号> 「学力向上やつしるプラン」の改訂について
<協議第8号> 「不登校対策やつしるプラン」の改訂について

加賀学校教育課長 2つの案件は関連があるため、合わせて説明を行う。
9月定例会において教育委員の皆さまから、学校現場から意見をいただき、理解していただくことが大切であることな

どの多くのご助言をいただいた。そこで、八代校長会と事務局との連絡会にて、代表の校長先生方に2つのプランを提示し、情報提供を行い、直接ご意見をいただいた。教育委員の皆さまと校長先生方からいただいたご助言を踏まえ、修正を行った。

資料により説明

澤村教育委員

「学力向上やつしろプラン」において、「わかる授業づくり」の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の中に、「ALTや外部検定試験（英検）等を活用した英語教育の充実」と示してあるが、ここに英語教育の充実だけがぱっと出てきている印象を受けた。八代市の英語の学力を向上しなければならないという喫緊の課題があるので、入れられたのだと思う。ALTの活用は以前からされていることだと思し、英語だけでなく、他の科目も厳しい状況があるので、英語教育だけが出てくるのに少し違和感があった。

加賀学校教育課長

これに関しては、今期の学習指導要領の中で、外国語教育は大きく変わった部分であり、国としても大事にしていることだと考える。数学も厳しいが、特に英語は以前から課題となっているので、学校総体として努めていければということで英語力の充実を位置づけた。グローバル人材の育成は、今後の日本の未来を支えていくうえで、非常に大事なものと学校現場でも考えており、特化したものである。

澤村教育委員

重点的に取り組むということで理解した。

丸山教育委員

「不登校対策やつしろプラン」について確認である。前回は、「家庭への支援」の中で、「民生委員・児童委員」と記載してあったところが「主任児童委員」と変更になっている。説明の中で、不登校対策で家庭に入っていくのは主任児童委員だからということであったが、主任児童委員は民生委員・児童委員でもあり、主任児童委員と民生委員・児童委員の辞令を2枚もらう。民生委員・児童委員の方が広くカバーできるので、表記としては良いと思っていた。今回、敢えて主任児童委員と表記を変えられたことにより、主任児童委員以外の民生委員・児童委員は、不登校対策に関わっていないとも受け取れるが大丈夫だろうか。

加賀学校教育課長

校区に位置付けてあるのが主任児童委員、民生委員・児童委員は各町内に位置付けてあると理解していたので、学校単体として考えたときに、主任児童委員のほうが適当であると考えた。どちらが適当であるか悩むところであった。

- 丸山教育委員 民生委員・児童委員も子供たちや母子家庭、援護家庭などに関わりがあるが、ここでは、不登校対策と学校との繋がりということで主任児童委員とした、実態に即しているということであれば理解したいと思う。ただ、前のままでも問題はなかったと思う。
- 泉生涯学習課長 現在、このような活動を行う中で、主任児童委員の方々が率先して活動されていると聞いている。そのため、今回のプランでは主任児童委員という表記になっていると思う。
- 中教育長 実際の各学校、地区での動きをしっかりと確認したうえで、適切な文言を選んでいただきたい。校区の規模もそれぞれであり、大きい校区だと、主任児童委員では負担が大きいとなることも考えられる。
- 渡邊教育委員 不登校対策プランについて、「フリースクール等との連携」とあるが、皆さんの意見を総括すると、この文言が適切であると思っている。
前回、気付かなかったところで説明をいただきたい。「『チーム学校』による対応」に「校内支援チーム（不登校対策委員会）の構成」と言葉が終わっているが、どういう意味だろうか。
- 加賀学校教育課長 校内支援チームは各学校で組織していただくものであるが、しっかり組織として位置づけてほしいということで記載した。
- 渡邊教育委員 メンバーを工夫しなさいということなのか分からなかった。対策委員会は全ての学校で組織されていると思っていたので、対策委員会の有り様がまだ不十分ではないか、ということをお願いしたいのではないかと思った。この文言では伝わらないのではないか。
- 加賀学校教育課長 校内支援チームの充実に向けた文言を加えたいと考える。
- 中教育長 充実というのは、どのようなメンバーが入るかの指定などだろうか。
- 加賀学校教育課長 管理職、生徒児童担当、人権担当などで組織されているか、定期的な開催がなされているかなど、実行的な組織として「チーム学校」に繋がるようにと考えている。改めて検討したい。
- 澤村教育委員 不登校対策やつしろプランについて、「未然防止」の項目に

『わかる』『できる』授業の実践」というのがあり、『授業改善ステップワン』による授業、「ユニバーサルデザイン・合理的配慮等の視点をもった授業」と記載され、この点は以前のプランより詳しくなったのでとても良いと思う。今回は、学力向上やつしろプランとも関連付けてある。未然防止はとても大事なことであり、その中でも学校で力を入れるのは授業改善ではないかと思う。不登校対策、いじめ対策、人権教育、学力向上でもある。授業を充実させ、子供たちが授業は楽しい、学校は楽しいと思えるように、改善に向けて努力していく学校、集団を作るのが大事だと思う。今回、この項目が一番目に記載されているのは良いと思う。

中教育長 2つのプランは、今後どのようなスケジュール感で考えられているか。

加賀学校教育課長 次回の定例会で再度、審議いただき、年明けに各学校にお知らせしたい。今年度もこのプランを踏まえ、来年度からはこのプランに沿ってしっかり学校運営を行っていきけるよう働きかけをしていきたいと考える。

中教育長 本日いただいたご意見等を踏まえ、もう少し精査をし、来月審議をいただくよう進める。新年から学校へ周知徹底を図っていく。

<報告第19号> 令和5年度八代市学校・子ども教育応援基金事業の取組状況について

松本教育政策課長 令和6年10月22日八代市議会において、令和5年度決算審査が承認されたため、令和5年度の寄附の状況及び事業について報告するもの。資料により説明

丸山教育委員 学校・子ども教育応援基金へいただいたご寄附は、貴重な財源となっており、大変ありがたいことである。リーフレットを作成して寄附金の募集につなげられたのは良い取組であると思う。昨年度は何部作成されたのか。「やつしろの風」で5,000部配布されているが、その後の周知活動はどのようにされているか。また、比較的小口のご寄附をいただいた方が多いが、寄附の受け入れはどのようにされているのか。もう一点、学校で実施されたQUテストについて、事業費のばらつきは生徒数が違うからであると思うが、ハイパーQUテストとQUテストの単価が異なるのは、どのように違うのか。

松本教育政策課長 リーフレットは8,000部作成した。「やつしろの風」に

折込した残りは、庁舎内やコミュニティーセンターに置いているが、若干余っている。寄附の受け入れについては、リーフレットの裏面が寄附申込書になっており、申込書をファックスしていただき、寄附の意思表示があれば、納付書を送付している。寄附のほとんどは「やつしろの風」のリーフレットを見られた市外の方からであり、市内の方からの寄附は少ないが、大口の寄附を事業者の方からいただいたことがある。

加賀学校教育課長 QUテストは、現在行っている i - c h e c k と似ており、心の有り様や集団での状況を知るためのものである。ハイパーQUテストは、対人関係を築く際に必要なスキルも構成される。最近であれば、ネット上の侵害感、中学校では部活動に関する質問もある。

渡邊教育委員 寄附が11月に集中しているのは、リーフレットが功を奏しているということだろうか。

松本教育政策課長 そうである。ただし、今年度からリーフレットの折込ができなくなった。「やつしろの風」は、観光振興課が業者に委託し作成しているものであり、今年度は「やつしろの風」の紙面に募集の記事を掲載した。QRコードを記載し、インターネットから申込ができるようにしているが、まだ申込がない状況である。市内の企業にリーフレットを配布するなど、個人以外から寄附を募る方法を模索しているところである。

早田教育委員 12月に市公式SNSへ投稿されているが、毎月されてはどうか。無料であるし、全国に届けることができる。

松本教育政策課長 いろいろな手を尽くして、周知したい。

中教育長 現在の基金残高はどのようになっているか。

松本教育政策課長 当初1,000万円の寄附をいただき、5月31日現在の残高は、1,635万円程度である。令和3年度に企業から500万円の寄附があった。

早田教育委員 SNSの活用であるが、このような事業に使ったというのをSNSで発信することはできないのか。どのような事業に使っているかを見ることができれば、寄附をしようかと思われる方もいらっしゃるのではないかと。

中教育長 いろいろな工夫をしながら、寄附の募集をしていただきたい。

<報告第20号> 令和5年度決算審査における質疑・要望等の概要について

- 下津教育部次長 資料により説明
橋本徳一郎議員、大倉裕一議員、増田一喜議員、堀口晃議員、橋本隆一議員、成松由紀夫議員、北園武弘議員から質疑・要望意見があった。
- 丸山教育委員 橋本徳一郎議員からの要望で、学力調査を毎年実施するかどうかについては検討してほしいとあるが、これについて、検討の余地はあるのだろうか。
- 加賀学校教育課長 全国学力調査と県学力調査は、市で実施するものではないので検討の余地はないが、市の学力調査は市が主体となって実施するものである。毎年度、子供たちの状況は変わり、担任も変わるので、指導がしっかり行き届いているか、学びの力があるかを知る必要があるため、教育委員会としては実施が必要であると考えます。
- 丸山教育委員 当然すべきものであると思っていたので、検討の余地はあるのだろうかと思ったところである。
- 中教育長 教職員組合などと話す中で、学力調査は先生たちの負担となっているという話があった。そのようなところから出た要望ではないかと考える。学校教育課長が言われたように、根拠がなくては何もできないので、学力調査は必要であると考えます。
- 早田教育委員 八竜自然公園の管理について、今年の七夕の時期に出かけたが、とても多くて車の離合が大変だった。道路に折れた木が散乱していたり、それで道幅が狭くなっていたりしているが、上からも下からもどんどん車が来て、離合が大変だった。下は崖になっているので、いつ事故が起きないかと心配する。コロナ禍が明けて、人も多くなってきていると聞くので、自然公園の管理もしっかりお願いしたい。
- 泉生涯学習課長 道幅が狭く離合が難しいということは聞いている。生涯学習課では自然公園の管理をしており、そこまでのアクセスについては坂本支所が管理をしているので、話をしている状況である。
- 田中教育部長 自然公園までの道路は市道であるため、八代市が管理している。坂本支所と話しているが、予算が関係してくるので、生活道路を優先にしてしまう。事故等の発生も懸念され

るので、イベントを行う場合は、道路事情には十分注意されるようお知らせをしながら対応したい。

5. 連絡事項
- 学校教育課 2学期終業式(12/24) 3学期始業式(1/8)
幼稚園再編園名募集(学校・幼稚園・ホームページにて公募 1月中旬まで)
県・市学力学習状況調査(11/29~12/9)
チャレンジングリッシュインやつしろ(12/21)
 - 教育サポートセンター
くま川教室閉級式(12/17)
 - 博物館 出張講座(12/8 八代市立図書館、12/14 お祭りでんでん館)
 - 未来の学校づくり推進室
第3回審議会(11/12) 第4回審議会(1/23)
 - 事務局 12月定例会日程確認(12/23 15:30~)

6. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・丸山委員

7. 閉会 (午後4時57分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
